

小松市教育委員会会議録

会議名	令和6年第7回小松市教育委員会定例会					
開会月日	令和6年6月7日(金)	場所	教育長室			
会議時間	(開会) 午前10時30分～(閉会) 午前11時7分					
休憩時間	① (休憩) 午前・午後10時50分～(再開) 午前・午後10時57分 ② (休憩) 午前・午後時分～(再開) 午前・午後時分					
委員の出席	教育長	山本 民夫	出席	委員	吉原 慎吾	出席
	委員	中惣 恭子	出席	委員	村井 啓介	出席
	委員	浅蔵 一華	出席	出席委員 4名 欠席委員 0名		
出席説明者	事務局長 長谷川 巖		出席	局次長兼教育庶務課長 東谷 勝美		出席
	学校教育課長 宮森 陸夫		出席	教育研究センター所長 中田 一宏		出席
	生涯学習課長 城下 浩介		出席	図書館長兼南部図書館長 田中 明子		出席
	ひとつものづくり科学館 副館長 宮島 浩典		出席	市立高校事務長 中川 久美子		出席
書記	教育庶務課主幹 湊 幸子		出席			
傍聴者	2 名					
会議に付した議題	【議案】					
	・議案第19号 令和6年度小松市奨学金貸与奨学生について(学校教育課)					
	【報告事項等】					
	・準要保護児童に対する就学援助費の支給額の改正について(学校教育課)					
	・寄附の受納について(学校教育課)					
	・令和5年度教育相談の概況について(教育研究センター)					
	・寄附の受納について(教育研究センター)					
	・こまつ市民大学第7期事業計画について(生涯学習課)					
	・寄附の受納について(市立高校)					

教育委員会報告

令和6年6月7日

【議案】

件名	議案第19号 令和6年度小松市奨学金貸与奨学生について
所管部課名	学校教育課
内容	今年度の奨学金貸与奨学生について、5月27日に小松市奨学金貸与審査委員会を開催した。結果、2名に決定した。
教育委員等の意見	特になし
	議案第19号承認

【報告事項等】

件名	準要保護児童に対する就学援助費の支給額の改正について
所管部課名	学校教育課
内容	国の要綱改正に準じて小松市要保護児童生徒就学援助費交付要綱に定める別表中、新入学児童生徒学用品費（新入学児童生徒学用品費等準備費）を「54,060円」から「57,060円」に改正する。
教育委員の意見	特になし

件名	寄附の受納について
所管部課名	学校教育課
内容	小松市校下女性協議会から生理用品（200,000円相当）の寄付があり、各学校に配付した。
教育委員の意見	【中惣委員】 計画訪問の際にトイレを確認しているが、置いてない所もある。先生方が日々チェックをして、いきわたるようにしてほしい。 【宮森学校教育課長】 各学校へ再度周知する。

件名	令和5年度教育相談の概況について
所管部課名	教育研究センター
内容	<p>令和5年度の相談件数は昨年度に比べ増加している。相談内容については不登校及び発達に関するものが主なものとなっている。</p> <p>ふれあい教室の月別通室状況は6月、夏休み明け、年度末が多い傾向にあり、相談の月別推移と同様となっている。</p> <p>訪問相談については、義務教育終了後にひきこもりの状態となることを防ぐため外部機関へつなげることを目的とし、毎月の不登校調査等で対象者をしぼり、学校を通じて家庭へアプローチし家庭訪問することで積極的に相談につなげている。</p> <p>今後も相談体制の充実に努めていく。</p>
教育委員の意見	<p>【村井委員】 相談の内訳の中で、件数としては不登校が一番多くなっているが、いじめがあるから不登校、情緒不安定だから不登校など、各項目間での関連が分かれば教えてほしい。</p> <p>【中田教育研究センター所長】 切り分けるのはなかなか難しい。発達から不登校、非行から不登校など色々な場合があり、その時々状況によるが、最終的にどこかにカウントする必要があるので不登校になった場合は不登校にカウントすることが多いが、それがいじめである場合にどうするかは協議しながら進めていくことになる。</p> <p>【浅蔵委員】 ふれあい教室の月別の通室状況について、一度通うとずっと通うのか、学校と行ったり来たりになるのか、どのような状況か。</p> <p>【中田教育研究センター所長】 学校に戻る場合やその逆もある。月に1度でも来れば1人とカウントしている。常にいる人数ではない。ずっと利用する子もいれば、何回かはふれあい教室で何回かは学校という子もいる。</p>

件名	寄附の受納について
所管部課名	教育研究センター
内容	小松ライオンズクラブからビデオキャプチャアダプタ14台の寄附があり、これまで配付していなかった14校に配付した。
教育委員等の意見	特になし

件名	こまつ市民大学第7期事業計画について
所管部課名	生涯学習課
内容	こまつ市民大学第7期を開講するもの。全24講座（内、新規10講座）で、9月から開講予定。
教育委員等の意見	特になし

件名	寄附の受納について
所管部課名	市立高校
内容	小松市立高校芸術コースの充実のためとして、小松美術作家協会から現金100,000円の寄附を頂いた。
教育委員等の意見	特になし

【その他】

件名	次回教育委員会会議日程について
内容	日時：令和6年7月17日（水）午前10時30分 場所：小松市役所6階教育長室

【教育委員からの意見・提言】

吉原委員	<p>4月に異動された先生方の一覧表をいただきたい。以前はもらっていた。計画訪問も始まるのでお願いしたい。</p> <p>【宮森学校教育課長】</p> <p>正式なものを後日お渡しいたします。</p>
中惣委員	<p>先日開催された全国花のまちづくり小松大会でのお茶席において、市立高校の茶道部の方のふるまいが礼儀も含めて大変すばらしかった。</p> <p>大会はたくさんの来場者だったと聞いているが、サイエンスヒルズの来館者数はどうだったか。</p> <p>【宮島副館長】</p> <p>5月は1万人ちょっと。大会はエントランス前の芝生広場であったためカウントできない。館内まで入り、体験等された方をカウントしている。</p>

	<p>園芸や清掃の道具が、お客様が通る目の付くところに置いてあるのが気になっている。掃除は大変だと思うが置き場所を配慮してほしい。</p> <p>【宮島副館長】 分かりました。</p> <p>今週月曜日朝に発生した地震について、自分の周りでは食事が取れない、夜眠れないなどの影響が出た方もいたが、子どもたちの状況・様子はどうか。昨年の計画訪問の際には、学期ごとに子どもたちにアンケートをすと言っていた学校が多かったが、それでは少ないように思った。</p> <p>今年は少なくとも月に一度はアンケートの実施や面談をするなど、配慮をしていただいているか。子どもたちの小さな変化を見逃さないように気を付けていただきたい。</p> <p>【宮森学校教育課長】 アンケートはどの学校も学期に一度はとっている。それ以外にも生活ノートや子どもたちの書く感想文などを通して気になる子については個別に話を聞くなどして子どもたちの小さな変化に気づいて状況を確認するようにしている。引き続きそのように指導していきたい。</p>
<p>村井委員</p>	<p>前回、今年度の運動会の日程について、暑い時期を避けて実施するとの報告があったが、熱中症対策は注意しすぎてもしすぎることはない。</p> <p>子どもたちを細かく観察することが大切。水分補給はもちろんだが、朝食を取っていなかったり夜更かししていたり、生活リズムが乱れていると熱中症のリスクが高まると言われている。計画訪問時に現場でもお伝えしようと思うが、このところ暑さも尋常でないので、教育委員会でも万全の対策を取ってほしい。</p> <p>【宮森学校教育課長】 今年度、熱中症の対応マニュアルを見直した。塩分タブレットや事前の水分摂取など、今求められている対応策を盛り込んだものとし、学校に示したところ。先月には各学校の保健主事を対象に熱中症対策の研修を実施した。</p>
<p>浅蔵委員</p>	<p>つばめ調査に子どもたちが来たのを久しぶりに見て微笑ましく思った。</p> <p>これから計画訪問が始まるが、子どもたちの様子はもちろんだが、今年初めて現場に出た新規採用の先生たちの様子についても見たいと思っている。</p>